



## 始業式で「おはよう、ぱっちゃん」の宣伝

4月8日の朝、新任の先生方を迎えた後に始業式を行いました。そこで、今年の北陽小のめあて「つながり、高め合う」の話をしている中で、子ども達に「明日からおはようのあとに、ぱっちゃんして、つながりを深めましょう」と、よびかけました。話だけでは実感がわからないので、前の方にいた教頭先生と私がデモンストレーションしました。

翌日から、おはよう！のあとに手の平をむけると、ぱっちゃんをしてくれる子がふえてきています。北陽小の4月の生活目標は「あいさつをしよう」です。ぱっちゃんがブームになって、「あいさつがんばろう」と思う子が増えるといいなあと思っています。お家の方でもこの話題でお話してください。



## 校長、毎朝1年教室に

入学式から、1年生は緊張しながらも毎日がんばって登校して、学校生活をスタートしています。教室で新しいことをたくさん覚えてがんばっています。きょううちに帰ったら、疲れが出て、早くねているんでしょうねえ。みなさん、頑張り屋です。

さて、10日の朝8時ごろに、私は1年生の教室に行って1年生の60人ほどと「おはようぱっちゃん」をしました。走り寄ってくる子、にっこりはずかしそうにぱっちゃんする子、ねむそうな顔でランドセルのお道具を引き出しに入れながら柔らかくぱっちゃんしてくれる子、いろいろですがどの子もかわいく「おはようぱっちゃん」してくれます。

翌朝、玄関にたまたまいた6年生の女子数名に  
「これから1年教室にぱっちゃんしに行くけど、一緒に来てくれる？」  
と誘うと、

「うん、いくいく。」

というので5分後に待ち合わせして、おねえさん数名を引き連れて朝の1年教室回りをしました。6年生の「おはパチボランティア」は何人かの1年生とぱっちゃんにつながりながら、「きゃーかわいい」と喜びながら楽しんでいました。

今度、6年生対象に「おはパチ」ボランティアを募集して仲間を増やしたいと思っています。

## 5月 個人懇談 よろしくお願いたします

今年は、これまで以上に「子どもたちがつながりあっていく」ことをメインに据えています、同時に子どもたちを取り巻く大人同士のつながりも積極的に推進していきたいと考えています。

そのため、今年から5月下旬に「全保護者との個人懇談」の場を設けました。宿題のこと、持ち物のこと、登校下校時のこと、友達関係のこと、学習の悩み等、子どもたちはたくさんの悩みを持っています。

学校では保護者の方とつながりを深め、「困っていることは何？」と子どもたちの思いをしっかりと聞き、「あなたは どうしたいと思っているの？」と意思を尋ねたりしながら、見守って、子どもたちの「乗り越える力」を身につけられるように応援したいと考えています。

もちろん、悪質ないじわるや脅しの場合は、学校は毅然と指導してすぐに止めさせることは当然ですが、乗り越えられそうな悩みまですべて大人が解決してしまえば、子どもたちの「乗り越える力」は育ちません。そのバランスを見極めるのは難しいのですが、そこは教師と親御さんのコミュニケーションを充実させることが大切だと考えています。

そのためには、早い時期に一度顔を合わせて、お話しすることが私にとってはとても重要だと考えています。「何かあったとき、相談したいとき」に一度直接顔を合わせて話したことがある場合と、一度も会って話をしたことがない場合では、随分と印象が違うものです。共に手を取り合って、子どもたちを育てていくという方針を進めるには「早めの面談」は大切だと思っています。

お仕事がお忙しく参加するのが大変だということも十分承知しており、平日の午後にお時間を取って頂くお願いをするのは心苦しいのですが、子どもとより親密に関わる素地としての重要な機会ととらえていますので、どうかご理解下さりますようお願いいたします。また、この変更に伴って12月の通知表渡しは「希望懇談」に変更させていただきます。よろしくお願いいたします。

